

## 学修の成果に係る評価及び修了の認定に当たっての基準

大学院看護学研究科 博士前期課程（修士課程）

### 成績評価基準

- ・科目成績は、秀、優、良、可、不可とし、秀、優、良、可を合格とする。
- ・修士論文は、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。
- ・最終試験は、合格、不合格とする。

### 修了要件

博士前期課程(修士課程)修了の要件は、標準修業年限年以上在学し、授業科目について 30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文審査および最終試験に合格するものとする。合格した者には、修士(看護学)の学位を授与する。修士課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

### 学位論文の審査基準

#### 1. 修士論文

- 1) 問題意識が明確でテーマ設定は適切か
- 2) 課題に見合った方法論が選択されているか
- 3) 与えられた情報や仮定から、適切に結論が導かれているか
- 4) 明解性・一貫性・論理性のある論旨が展開されているか
- 5) 文章力・読解力・自己表現力、探究心、批判的思考力等はあるか
- 6) 自律的・計画的・持続的に十分時間をかけて学位論文を作成したか
- 7) 自身の論文について、テーマ設定 データ収集 推論 結論の導出の過程を説明し、弁明できるか
- 8) 看護学関連の雑誌に投稿した場合、掲載される可能性はあるか
- 9) 看護学への貢献度があるか

#### 2. 課題研究（特定の課題についての研究の成果の審査）

- 1) 問題意識が明確でテーマ設定が適切か
- 2) 課題に見合った方法論が選択されているか
- 3) 与えられた情報や仮定から、結論を導き出す過程に問題点は見られないか
- 4) 明解性・一貫性・論理性のある論旨が展開されているか
- 5) 文章力・読解力・自己表現力があるか
- 6) 看護学への貢献度があるか

## 最終試験の審査基準

### 1. 修士論文コース

- 1) 看護研究者として必要とされる態度・資質（例えば、人間性・良識、共感性、協調性、社会性、謙虚さ、誠実さ、リーダーシップ等）を有しているか
- 2) 看護研究者としての幅広い知識教養（例えば、社会問題、自然環境、人間心理、歴史への関心）を有しているか
- 3) 今後研究内容を積極的にプレゼンテーションできるか

### 2. 上級実践コース

- 1) 上級実践者としての専門的能力に優れているか
- 2) 課題研究から今後の実践に結びつけて説明できるか
- 3) 専門識者としての態度・資質(例えば、人間性・良識、共感性、協調性、社会性、謙虚さ、誠実さ、リーダーシップ、探究心、批判的思考力、自分の弱点・強みが理解できるか、等)を有しているか
- 4) 上級実践者としての幅広い知識・教養(例えば、社会問題、自然環境、人間心理、歴史への関心)等を有しているか

## 審査方法

本学学位規程により定める審査委員が学位論文・最終試験の審査基準により総合的に判定し、合・否、あるいは、秀・優・良・可をつける。

## 履修方法

各専攻・分野における授業科目、単位の履修方法については以下の通り

[大学院看護学研究科 博士前期課程\(修士課程\) シラバス・時間割 | 聖路加国際大学 \(luke.ac.jp\)](http://www.luke.ac.jp)